

サーチライト With Pastor Jon 黙示録16章 パート2

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBEやブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージby ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238

Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

水が血に変わった時、水を司る御使いが言いました。

「あなたの裁きは、正しく真実です！」

また私は、祭壇がこう言うのを聞いた。「しかり。主よ。万物の支配者である神よ。

あなたのさばきは真実な、正しいさばきです。」(黙示録16:7)

天の祭壇までもが言います。

「どんなことでも、あなたのなさることは、正しく真実です。」

これはすごいことです。

人生を十字架のレンズを通して見てみると—それは祭壇からの目線で—十字架という祭壇を通して物事を見ると、主はジョン・コーソンをととても愛していて、私個人のために自ら十字架にかかって下さいました。

釘が主の手を突き通したのに、どうして私が主を疑うなんてできるでしょう。

「主よ、これは何ですか?」「どうしてこんな状況の中にいるのか?」「なんで?」

「どこですか?」「なぜダメなの?」「どうなってるんだ!?!」

それらは、全く以て愚かなこと。

もし主の手を実際に見て、主が私のために支払われた代価を目にしたら、その後見るもの全てが変わるでしょう。

「主よ。たとえ今は分からなくても、このことだけは分かります。

あなたは狂おしいほどに私を愛しておられ、あなたの愛の支配を外れては、何も起こりません。

だから、そうであるなら、何が来ようと、何が起こっていようと、最終的には全てが最善

になる事を私は知っています。」

また私は、祭壇がこう言うのを聞いた。「しかり。主よ。万物の支配者である神よ。あなたのさばきは真実な、正しいさばきです。」（黙示録16:7）

第四の御使いが鉢を太陽に向けてぶちまけた。

すると、太陽は火で人々を焼くことを許された。（黙示録16:8）

こうして、人々は激しい炎熱によって焼かれた。

しかも、彼らは、これらの災害を支配する権威を持つ神の御名に対してけがしごとを言い、悔い改めて神をあがめることをしなかった。（黙示録16:9）

今回の裁きは、繰り返し連続して行われます。

自身が受けた刻印により体は痛む。

海、海洋は恐ろしく激しい悪臭の死。

海の色は血の色。

水源までもが血となり、供給が止まってしまう。

そして次に、太陽が輝き出し、激しい炎熱で人々を焼き始めます。

超新星現象は、太陽や星が死ぬ前に爆発によって燃え上がり、激しい灼熱を放つのですが、ここで書かれているのは、その可能性もあります。

地上の人々は、“SON”（サン）御子イエス・キリストに背を向けた人たちで、今度は“SUN”（サン）太陽によって焼かれています。

ここで皆さんに見て欲しいのはここ。

人々は激しい炎熱によって焼かれた。（黙示録16:9）

これに対して彼らがしたことは、

神の御名に対してけがしごとを言い、悔い改めて神をあがめることをしなかった。

（黙示録16:9）

“SON”（サン）御子と呼び求めて「私たちに憐れんで下さい！」

「あなたに背いてしまいました!!」「あなたに反抗しました！」

「あなたを信じませんでした!!」「主よ。どうか、憐れんで下さい!!!」とは、言いません。

痛みと苦しみの中で神を呪い、御名を汚し、悔い改めないのです。

ここに書かれていることをよく読んで下さい。

皆さんが、このコンセプトを理解できるように祈ります。

多くの方が、私たちクリスチャンを批判します。

それは、私たちが信じている聖書が「地獄は永遠だ」と伝えているから。

マタイ25章で、イエスは地獄について話しています。

「永遠の刑罰」（マタイ25:46）

「永遠の火」（マタイ25:41）

マルコの福音書では、「そこでは、彼らを食ううじは、尽きることがなく、火は消えることがありません」（マルコ9:48）

いくらでも出て来ます。

地獄には終わりがありません。

それで人々は、私たちに対してとても批判的で、「おまえたちの言う通り神が愛なら、反

逆した人に対する罰は、地獄での数千年、数万年、数百万年で十分じゃないか。
永遠の永遠の永遠の永遠に、人間が地獄で焼き焦がされることを良しとするなんて、そんな神がいるはずがない！」
このような発言や疑問を聞いたことはありませんか？
ここに答えがあります。

裁きによって焼かれている人たちがしたのは、御名に対して汚しごとを言ったこと。
だから、裁きは永遠でないといけないのです。
人間は永遠に悔い改めないから。
ここで見る通り、絶対に、これからも、どれほどの灼熱であろうとも、どんなに痛めつけられようとも、悔い改めようもしないし、悔い改めません。
あらゆる裁きが行われ、太陽によって焼かれ、痛みに苦しみながら、彼らが何をしたかという、『御名を汚した』
絶えず、神に対して汚しごとを言うのです。
永遠の裁きが必要なのは明らかです。
人間は絶対に悔い改めないから。
人は、悔い改めない。

「いや...、ジョン。今回の箇所ではそうかもしれないけど、でも、僕は悔い改めたよ。」
と皆さんは言うでしょう。
それは、“神の恵みによって”です。

**「義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。」
(ローマ3:10-11)**

「なら、どうしてボクは悔い改めたんだ？」
それは、あなたの人生に神の恵みが注がれたからです。
だからあなたも私も、いつまでも永遠に感謝するべきです。
「主よ。この驚くべき救いの業を、私にもたらして下さいありがとうございます。」

それから、今夜ここで一緒にいながら、「私がクリスチャンでないって事は、私にはそれがもたらされなかったんだ。」と思っている人、もし今、あなたが救いを受け取るなら、あなたにも起こるとい事が分かるでしょう。
今、心を開けばあなたも選ばれ、神の恵みを受け取ることが分かります。
でも、この場を離れて神を汚すなら、「バカなクリスチャンたち。全く何を言ってるんだか。ワケが分からん。」等々、汚しごとを言い続けるなら、嘆き、文句を言い、悲観するなら、神に対して拳を振り上げるなら、神との時間を作らないなら、どうして地獄から逃れられるでしょうか。
今の時点で神に関心がないなら、状況が過熱してきた時には、更に怒りと苦々しさが増すでしょう。
そうして、神に対して汚しごとを言うのです。
彼らは灼熱の中で焼かれながら、神に対して汚しごとを言いました。

第五の御使いが鉢を獣の座にぶちまけた。(黙示録16:10)

これはバビロンのこと。
すると、獣の国(バビロン)は暗くなり、人々は苦しみのあまり舌をかんだ。

(黙示録16:10)

そして、その苦しみと、はれものとのゆえに、天の神に対してけがしごとを言い、自分の行いを悔い改めようとしなかった。(黙示録16:11)

彼らは神に対して汚しごとを言います。

ここで覚えておいて欲しいことは、この時、反キリストの政府の座はバビロンです。

次の学びで詳しくお話しますが、バビロンは最後の反逆が行われる地です。

では、最初の反逆の地は？

バベル。

バベルの塔を建てようとした場所、そこが、バビロン。

地理的に、バベルとバビロンは同じ場所です。

何のために塔を建てたかという、天に届くため、それはつまり、「神など要らない。」

「塔を建てて、占星術のために星を研究するのだ。」

「みずがめ座とか乙女座とかの12の星座が人生を導いていくのだ。」

それが、この人たちがやろうとしていたことで、そのための塔だったのです。

「そうすれば、もう神は必要ない。神の代わりに星を見ればいい。」

神は彼らがしていることをご覧になり、

主が全地のことばをそこで混乱させた(創世記11:9)

そこ、バベルの地で舌が影響を受け、人々は混乱し、互いに言葉が通じなくなりました。

獣の座であるバビロンでは、人々は舌を噛みます。

痛みの中、苦しみのあまり舌を噛みながら、それでも尚、神に対して汚しごとを言い、絶対に悔い改めません。

第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。

すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。

(黙示録16:12)

また、私は竜(サタン)の口と、獣(反キリスト)の口と、にせ預言者の口とから、かえるような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。(黙示録16:13)

彼らはしるしを行う悪霊どもの霊である。

彼らは全世界の王たちのところに出て行く。

万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。

(黙示録16:14)

こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

(黙示録16:16)

6つ目の鉢で事態は激しさを増し、世界中の軍隊がここに集中します。

カエルのような悪の使いが、全世界から『メギドの丘』“ハルマゲドン”に軍隊を呼び集めるのです。

彼らはなぜやって来るのでしょうか？

どうして世界中の軍隊が、カエルの呼びかけに応えるのですか？

その理由は？

東の王たちとは？

どういうことでしょうか？

これらの軍隊をメギドの谷に引き寄せるものとは何なのでしょう？

何より、“ハルメギド”ハルマゲドンの意味は？

ヨハネの時代、この手紙を読んでいる人々にとって、これは何を意味するのでしょうか？

第6の裁きである第6の鉢で、患難も終盤に近づきました。

ハルマゲドンの戦い。

悪霊どものカエルはゲロゲロと鳴く。

次回の学びでお話しますが、これは驚愕の事象です。

(*申し訳ございません。パート3は何らかの事情により不明のため、2011年バージョンになります。)

天の父よ。私たちが向かっている時代を見、また人々の反応に、心は不安でいっぱいになります。

初めに救いを拒絶し、そうして神に対して汚しごとを言う心の頑なさを知りました。

主が悔い改めに導いている中であっても、人々はただ心を頑なに、罪を重ねるばかりです。

父よ。墮落した人間の心の恐ろしさを、ここではっきりと見ました。

父よ。私たち自身の生活に於いても墮落があります。

肉が醜い思いを抱き、神を汚し、不親切な言葉、感謝のない言動、不平不満、疑い、あなたを不公平だとか、不真実だと訴えます。

主よ。今日学んだことは、時に自分の心の中にも起こり、この地上でも起こります。

どうか、私たちの中のそのような愚かさから救って下さい。

主よ。私たちを赦して下さい感謝します。

父よ。長老たちや生き物たち、そして御使いたちが天国で、「あなたのなさることは、全て正しく真実です。」と大声で繰り返し言ったように、私たちが天国の視点を持つ意味を知り理解して、それが私たちにも真実となりますように。

私たちも同じ事を宣言することができますように。

あなたに汚しごとを言わないように、疑うことがないように。

私たちは取り戻されて救われ、この書にある恐ろしい患難から逃れて、天国に向けて整えられており、そして主よ、あなたと共に生きるのです。

それで、私たちも絶え間なく大声で叫びます。

「あなたは正しく真実、聖なる聖なる聖なる方！」

「あなたこそが偉大な全能の神、昔いまし、今いまし、後に来られる方！」

「万人よりすぐれた方！」

「シャロンのバラ、谷のゆりの花、輝く明けの明星です！」

あなたに関することは全て、主よ、完璧です。

あなたが、私たちに現して下さい愛と優しさは驚くばかりです。

いつも私たちの側において、今日家に帰る道中もあなたと話すことができ、今日の日を終える時にも、あなたに全ての思い煩いを委ね、親密な交わりを体験できるのです。

あなたがして下さいことは全て、実に素晴らしく、主イエスを通して見せて下さったあなたご自身は美しい。

今夜、私たちは「救って下さって感謝します。」と言い、あなたが下される全ての裁きを絶対的に信頼します。

そして今夜、まだ救われていない人々が、あなたの御子を受け入れるようにと祈ります。

この恵みの時に、彼らがあなたに引き寄せられるように、私たちは人生を通して真実を伝えていきます。

この週末も、また魂が救われ、人々があなたの王国に来ますように。

福音を伝え、あなたの栄光を輝かせ、あなたの愛を伝えるために私たちをお使い下さい。

イエスの御名によってお祈りします。

アーメン

つづく

神に近づきなさい。

そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。

罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。

二心の人たち。心を清くしなさい。(ヤコブ4:8)